

## WECC2015 Newsletter No.3

2015年3月18日

WECC2015の準備状況と  
参加のお願い

組織委員会  
委員長 佐藤順一

京都で開催される世界工学会議の開催まで、9ヶ月ほどになりました。開催に向けての準備も鋭意進められており、プログラムについてはほぼできあがり、見学会や同伴者プログラムもほぼできあがりしました。ホテルに関しても、参加者の幅広いご要求にあわせるべく十分な数の種々のタイプのホテルを仮予約しています。これらの準備状況についてかいつまんでご説明いたします。

プログラムは開会式、基調講演（Conference Plenary Lecture）、テクニカルプログラム、テクニカルプログラムの総括講演、閉会式で構成されています。

Conference Plenary Lecture では、7つの講演が計画されています。ユネスコからは工学と社会について、International Energy Agency (IEA)からは世界のエネルギー問題について、国連からは世界の水問題について基調講演が行われる予定です。日本の経済界からは自動車産業と工学について、国土交通省からは国土の resilience について、経済産業省からは経済政策と Innovation についての基調講演が行われる予定です。さらに、昨年のノーベル物理学賞を受賞した名古屋大学の天野教授による LED 照明と環境問題に関する基調講演も行われる予定です。

## WECC2015 参加登録開始！

いよいよ参加登録を開始いたします。  
下記 URL からのご登録をお待ちしております。

<http://www.congre.co.jp/wecc2015/jp/registration/index.html>

公式宿泊サイトも同時にオープンいたします。

会場:国立京都国際会館

日付:

世界工学会議：11月29日～12月2日  
世界工学団体連盟（WFEO）総会、理事会、  
技術委員会：11月28日～12月4日  
テクニカルビジット（見学会）：12月3日



Welcome to **Kyoto**

**WECC2015**

World Engineering Conference and Convention  
**Engineering: Innovation and Society**

November 29 – December 2, 2015 Kyoto International Conference Center, Kyoto, Japan

WFEO General Assembly, Executive Council and Committee Meetings: November 28 - December 4 Technical Visits: December 3

テクニカルプログラムにおいては、我々の社会の持続的発展に重要な役割を果たす各工学分野において、現状がどうであるか、将来はどのような方向に進んでいくかについて、各分野の著名な専門家が俯瞰的に述べるとともに、会場と議論を進めるように構成されています。その議論をさらに有効に進めるために、一般応募のポスターセッションが開催されます。それらを統合することにより、各分野の将来に対する深い議論が進むものと期待されます。

最終日、12月2日の午後には、テクニカルプログラムに関する総括講演と討議が行われます。これにより、工学が向かうべき将来像を分野毎に明らかにし、さらにそれを総括した京都宣言 (Kyoto Declaration) が、閉会式で披露される予定です。

工学の発展には、それをはぐくむ文化が重要な役割を果たします。WECC2015 京都では、テクニカルプログラムだけでなく、見学会や同伴者プログラムを通じて、京都地区の工業を支えてきた文化について、ご紹介する予定です。京都地区には世界的に有名な独創的な企業が多く存在します。それらの発展には、京都地区の文化が大きく影響しています。それらを見学することにより、工学・工業・文化の関係をよりよく理解できるものと思っています。

さらに、11月29日午後には独自企画として、京都セッションが開催されます。ここでは、世界遺産になりました日本食をはじめ、京都の独創的な文化について紹介が行われます。ぜひ、これにもご参加いただければと思います。

11月29日から12月2日にかけては、京都でもっとも美しい季節にあたります。紅葉など多くの木々が赤や黄色に色づき、それが京都の自然や、京都の史跡・寺院の佇まいをいっそう

際立たせます。ぜひ、このすばらしい季節を京都で過ごしていただけたらと思います。ホテルも非常に混んでいる時期ですが、幸いにして、かなりの数のホテルの部屋を、皆様の要求に对应えられるよう確保しております。早めの申し込みを推奨致します。

WECC2015 京都をさらに充実させるため、組織委員会としては鋭意努力しております。このすばらしい時期に、皆様と WECC2015 京都ですばらしい議論ができることを祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。



## WECC2015 プログラム紹介 “課題解決型イノベーションの 実現に向けて”



組織委員会  
副委員長  
廣崎 隆太郎

現在われわれは、気候変動、資源・エネルギー問題、高齢化問題などさまざまな地球的課題に直面しています。これらの課題を解決し、持続可能な成長を実現するためには、幅広い分野におけるイノベーションの役割が、従来以上に重要になりつつあります。WECC2015, Kyoto では、こうした背景をもとに、“Engineering: Innovation and Society”を統一テーマとして分野横断的、業界横断的に最新のイノベーション成果を結集し、次世代社会に向けた課題解決への道筋を議論いたします。

より具体的には、イノベーションを、技術イノベーション、社会基盤イノベーション、人材育成イノベーションの三つの側面からとらえ、世界の専門家とともに議論し、幅広い知の共有を図るものです。第一の技術イノベーションについては、エネルギー・資源分野、土木・建築・都市計画分野、移動・輸送分野、情報・通信分野、医工連携分野に関する先端技術を中心に議論を深め、今後の分野横断的課題解決への方向性につき知見を深めます。第二の社会基盤イノベーションについては、災害対応などレジリエンス実現のためのシステム基盤イノベーション、新産業創造に向けたビッグデータ活用基盤イノベーション、知的資産・ファイナンス活用基盤イノベーション、次世代ものづくり基盤イノベ

ーション、次世代材料開発基盤イノベーションに関して具体的な経験を持ち寄り、持続可能な成長に向けての課題を共有します。第三の人材育成イノベーションについては、工学の社会的使命を考察する視点から課題を幅広くとらえ、リスクコミュニケーション、技術者倫理、女性技術者育成を含むダーバースィー等に関するイノベーションを取り扱います。世界的に注目を集める福島原発の教訓についても議論を深め世界的な情報共有を図ります。

以上述べたように、WECC2015 は、通常の専門分野別国際会議と異なり、課題解決型イノベーションに向けた分野横断的な議論の場であり、各分野の専門家のみならず、各国政策立案担当者、産業界を支える多くの企業マネージャー、課題解決型イノベーションへの挑戦を志す若手研究者などにとって、広範な知識を習得する又とない機会を提供するものです。この機会に世界中の有識者が、2011.3.11 から多くの教訓を学んだ日本の古都、京都に集まり、今後の持続可能な成長に向けた議論に一人でも多く参加していただくことを期待いたします。